

# 第63回 香嵐渓もみじまつり

## 紅葉みどころマップ

### 足助城 見ごろ:11月中旬頃〜



戦国時代に足助を領有していた鈴木氏が築いた山城です。発掘調査を元に再建されました。本丸からの眺望は素晴らしい。

### 夫恋薬師 (つまこいやくし)



落部駐車場から階段を登ると、お堂があり、恋愛成就のご利益があるといわれます。お乳の出が良くなるという大イチョウの木があります。

### 見ごろ:11月中旬頃〜

### つり橋(香嵐橋) 付近



香嵐渓の東側にある赤いつり橋(香嵐橋)付近は、朝日がよく当たる場所。そのまぶしい光に照らされたもみじが、色鮮やかに巴川の静かな水面に映ります。ここは園地内でも比較的早めに色づき始めます。

### 見ごろ:11月下旬頃〜

### もみじのトンネル



香積寺までの参道は背の高いもみじで覆われているので、トンネルをくぐっているかのように見えます。午後の西日が当たると紅葉したもみじの葉が光で透けて見え、道いっぱい赤く染まります。

### 見ごろ:11月中旬頃〜



### 巴橋から

巴橋は飯盛山のほぼ全景を見ることができる場所で、待月橋と並んで、大変人気のある撮影スポットです。昼間の景色も素敵ですが、夜のライトアップも美しく、まるで山が燃えたかのように見えます。ライトアップは11月中の毎日午後9時から午後9時まで行います。

ライトアップ時



- AED 設置場所
- Wi-Fi 設置場所
- 撮影スポット
- トイレ
- 授乳室
- 外貨両替所

### たいげつきょう 待月橋

### 見ごろ:11月中旬頃〜

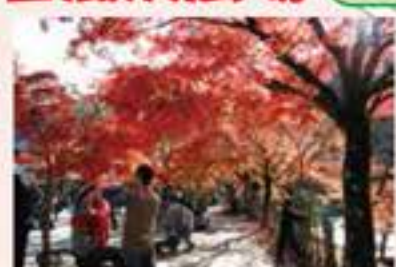


### 五色もみじ

香嵐渓のシンボリック的存在の待月橋。撮影スポットとして大変人気のある場所です。また、飯盛山側の岸には『五色もみじ』と呼ばれるもみじがあり、緑、黄緑、黄、橙、赤とその名の通り、五色のグラデーションで紅葉していくのが楽しめます。

### 香嵐渓広場

### 見ごろ:11月中旬頃〜



川からの冷気の影響が早めに色づきます。ベンチに座ってゆっくり鑑賞できます。



もみじまつり期間中は猿回しや和太鼓、お茶会などのイベントが開催され、足助屋敷前ではおなじみの五平餅や刀削麺、フランクフルトなど様々な屋台や物産展等が開かれます。

### こうじゃくじ 香積寺

### 見ごろ:11月下旬頃〜



香嵐渓のもみじは、江戸の初期に香積寺11世三栄和尚が楓や杉を植えたのがはじまりとされています。その後、大正・昭和のはじめに地元住民の手によって植えられ、現在では、約4,000本ものもみじがあるとされています。

## アクセス

- <公共交通機関>
- 名鉄名古屋本線 東岡崎駅下車、名鉄バス 足助行き約60分
- 名鉄三河線 豊田市駅下車、名鉄バス 矢並線 足助行き約45分 いずれも香嵐渓下車
- 愛知環状鉄道 八草駅から直行バス約60分 (11/10~30)
- <車>
- 東海環状自動車道 豊田助八IC下車、国道153号足助方面に約15Km
- 遠投グリーンロード 力石IC下車、国道153号足助方面に約10Km



足助観光協会の渋滞情報や迂回路案内マップを参考にしてください。